

『みんなを支援!みんなで支援!』
第7期 推進構想
2026年度

みんなが伸びる みんなと伸びる 自立を支援する教育の推進

めざす方向

多様な教育的ニーズ(障がいの有無や種別、外国人児童生徒等)に応じ、同じ学びの場において共に学ぶことを追求し、
最も的確に応える指導・支援を行う教育

一人一人の教育的ニーズへの対応

基本施策1

「一人一人の教育的ニーズの把握と、それに
応じた指導・支援の充実」 **重点項目①**

- ① 個の教育的ニーズに応じた適切な計画立案
- ② ユニバーサルデザインの授業づくりの推進
(どの子にも「分かる」「できる」授業づくり)
- ③ ICT活用等、学び方の違いに応じた支援の工夫
- ④ 生徒指導、教育相談との連携
- ⑤ 医療的ケアを要する園児・児童への支援

基本施策2

連続性のある「多様で柔軟な学びの場」の
整備

- ① 基礎的環境整備の充実
- ② キキョウスタッフ(支援員)の効果的な配置と研修
- ③ 小中通級指導教室の効果的な運営
- ④ 校内での交流及び共同学習、特別支援学校との
交流籍交流の取組の推進

自立を支援するための 園・学校力の向上

基本施策3

「教職員の専門性の向上を図る研修の充実」 **重点項目②**

- ① 全教職員の特別支援教育に関する理解と指導力の
向上
- ② 特別支援教育コーディネーターの専門性の向上と充実
- ③ 特別支援教育の免許状(特別支援学校免許状等)
の取得の啓発

基本施策4

「就学先決定の仕組みと教育支援の充実」

- ① 専門家チームによる巡回相談
- ② ニーズに応える*専門職による支援相談
- ③ 早期からの教育相談・支援の充実
- ④ 就労まで見据えた本人、保護者への情報提供

*特別支援加配教頭, 特別支援教育指導教諭, 障害児巡回支援専門員等

基本施策5

「一貫した支援の取組み」 **重点項目③**

- ① スマイルブック(多治見市版プロフィールブック)を活用し
た理解と支援の共有
- ② 園と学校間の連携、および卒業後の諸機関との連携

より適切な支援をするための

諸機関との連携の充実

基本施策6

「諸機関との連携強化」

- ① 保健センターおよび医療、福祉等の諸機
関との連携の強化、および支援への活用
- ② 発達支援センターと幼稚園・保育園との
連携の強化
- ③ 発達相談(幼児期・学齢期)の充実

多治見市の現状と課題

- ① 特別な支援を要する子どもの割合が
増加傾向にある。
- ② 一人一人の教育的ニーズに応じた支
援をより充実させる必要がある。
- ③ 教職員等の専門性の向上など、園や
学校が子どもの将来を見据えた自立
を支援するための支援体制を充実さ
せる必要がある。
- ④ より適切な支援をするために、諸機関
の連携を強化する必要がある。

★保健、福祉、医療と教育との連携



インクルーシブ教育推進委員会(委員: 14名)

(事務局) ○教育推進課・教育相談室 教育研究所 こども家庭課 保健センター 福祉課